

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT REPORT
環境経営レポート



野村産業株式会社

【対象期間 2022年05月～2023年04月】

【発行日 2023年06月15日】

目次

- 組織の概要
- 対象範囲
- 環境方針
- 環境経営目標・活動計画
- 環境活動計画の取組結果とその評価
- 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 代表者による全体の評価と見直しの結果
- 次年度の取組内容
- 実施体制

野村産業株式会社岩手工場 会社概要

項目	内容	
事業所名	野村産業株式会社 岩手工場	
所在地	本社 府中工場	〒183-046東京都府中市西原町1-13-3
	岩手工場	〒029-4204 岩手県奥州市前沢字本杉128
	(倉庫)	前沢字長檀58
代表者	執行役員工場長 齋藤 淳	
創業	昭和11年3月	
資本金	2,000万円	
社員数	53名	
環境管理責任者 及び連絡先	管理責任者	生産管理課 主任 石川 郁雄
	TEL	0197-56-3107
	FAX	0197-56-2619
事業内容	精密板金加工、試作、金型製作、機械加工	
車両保有台数	10tトラック:1台	
	3.5tトラック:1台	
	営業車:2台	
	フォークリフト:2台	
認証登録範囲	岩手工場 全事業活動	
売上げ	約7.2億円 (岩手工場)	
生産量	約437t (岩手工場)	

主要設備

設備	能力	台数
シャーリング	1200/2000mm	2
パンチ・レーザー複合機	1250×2500mm	2
レーザー加工機	4kw 1524×3048mm	1
CAD/CAM等	—	8
3Dバリ取り機(乾式)	サイド×1000mm	1
バリ取り機(湿式)	サイド×600mm	1
プレス	300t~60t	7
セットプレス	35t~30t	3
レベラーフィード	3.2t×420mm	1
レベラー	3.2t×600mm	1
NCプレスブレーキ(ベンダー)	170t~60t	8
追従機	2000mm	1
NCタッピング	900x1800mm	2
テーブルスポット溶接機	80KVA	2
スポット溶接機	50KVA~8KVA	10
Yagレーザー溶接ロボット	6KW	1
Yagレーザー溶接機	19kva	1
アルゴン溶接機	14.5KVA	5
半自動(CO2)溶接機	7.6KVA	4
スタッド溶接機	—	3
NCスタッド溶接機	—	1
多軸タップ	22軸500x200mm	2
卓上タップ	M2~M8	7
かしめ機	0.75KW	1
ワイヤーカット放電加工機	350x500mm	2
平面自動研削盤	500x900mm	1
マシニングセンター	テーブル2300mmと#40	2
汎用旋盤	—	2
汎用フライス盤	縦型、横型	4
ラジアルボール盤	1000mm	1
卓上ボール盤	~φ13	5
帯鋸盤	250x250mm	1
レーザーQC測定器	0.05mm	1
コンプレッサー	~22kw	4

2022度 岩手工場 環境経営方針

- 1, 野村産業株式会社 岩手工場は、板金加工による金属部品の提供を通じ、社会に貢献する事を目指します。
- 2, 電気使用量、廃棄物の削減等を通じて、岩手工場の事業活動によって生じる環境負荷を低減していきます。また、これらの活動を通じて、お客様が安心して当社との取引を行える事を目指します。
- 3, エコアクション21の運用により、環境経営の継続的な改善を行います。
- 4, 製品含有化学物質管理等、事業活動に関わる環境関連法規等を遵守します。

制定 2007年7月1日

改定 2022年5月1日

野村産業株式会社 岩手工場
執行役員工場長 齋藤 淳

2022年環境目標

1. 室効果ガス排出量削減(売上原単位)

- スコープ1, 2(自社事業活動、購入エネルギー)において、
- ・2013年度実績に対して、2030年度50%削減。
 - ・2013年度実績に対して、2022年度31%削減。

2. 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量(排出量、処分量は売上原単位)

- ・過去3年間平均値に対して1%削減。
- ・不良品の削減(市場不良率200PPM以下)。

3. 環境及び労働安全上の緊急事態対応

- ・教育訓練の実施(年1回)

4. その他

- ・地域貢献; 2022年度は引き続き新型コロナ影響が予想される為、沈静化まで活動は見合わせ予定
- ・水使用量の管理; 生活用水のみ90L/人・日。節水励行とデータ監視。

2022年度実績

		基準年度	2022年			評価
		2013	目標	実績	達成率 %増減	
温室効果ガス排出量	Kg-CO ₂ /百万円 (売上げ高原単位)	926	639	476.87	125.4	○
廃棄物排出量	Kg/百万円 (売上げ高原単位)	9.83	9.73	7.39	124.0	○
水使用量	90L/人・日	データ 管理	継続	継続	データ 管理良好	○
製品サービス	%	品質維持 200ppm	品質維持 200ppm以下	品質維持 47ppm	品質維持 良好	○
資質教育	回	1	1	1	良好	○
地域貢献	回	-				×

コロナ禍の為、自粛しました

2022年度取組計画内容と実績

環境 エコアクション21

2022年度

活動計画の実績

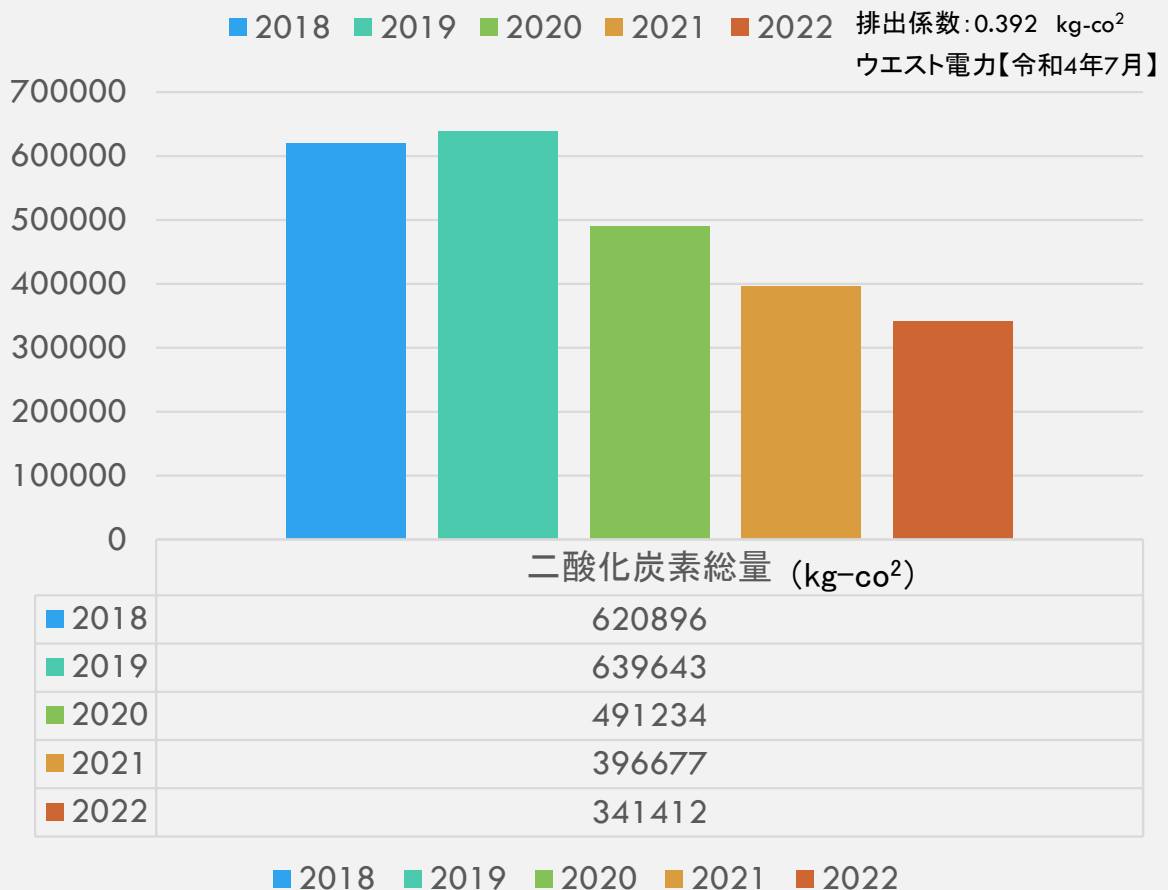
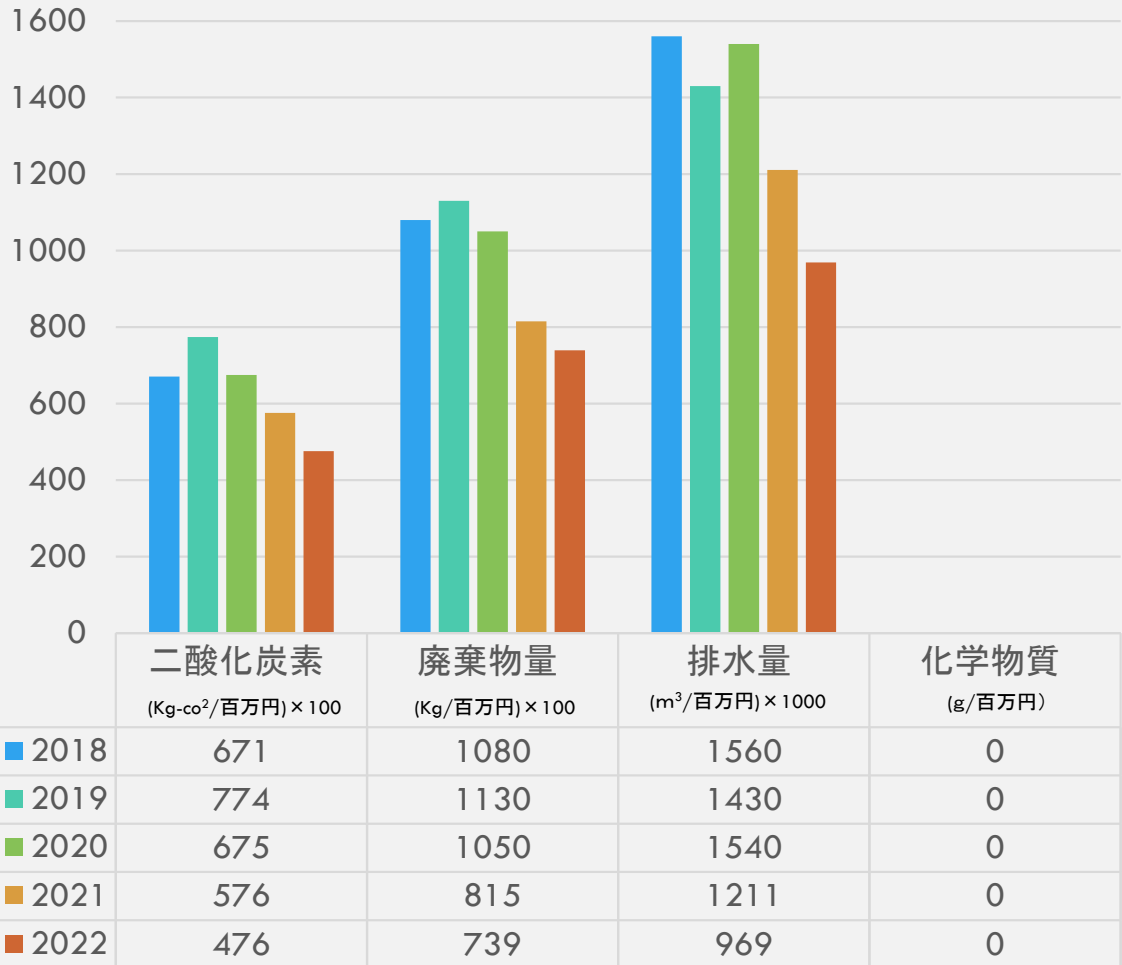
2022.5.23

承認	作成	承認	作成
		Saito	Ishikawa

No.	環境目標 (推進担当者) [達成期日]	活動計画	チェック者	チェック結果	単位	基準値	2022 中期目標	削減率	実績値	達成率 %増減	備考
1	温室効果ガス排出量 【菅原部長】 排出係数 令和4年公表 温室効果ガス 0.329 kg-CO ₂ (※削減目標は前年度の電力消費量の削減率を考慮し、削減率を定めたため排出係数未定) (電気供給年率を定めたため排出係数未定) 中期計画 ・2013年度実績に対して、 2030年度50%削減。 ・2013年度実績に対して、 2022年度31%削減。	設備更新時はエコ型新設備への入れ替え エアコン…適切な温度管理 夏場:25~28℃、冬場:18~22℃ 寒暖に応じた服装 冬:天井扇を回し室内上下温度の均一化しているか 出荷荷物はまとめて出してシヤッターはすぐ閉めているか(生産管理課) 休み時間の消灯、不要な照明はコマめに消えているか 電力不要時の電源遮断(プレッファOFF、コンセントを抜く) 帰る時にエレベーターを切っているか(夜間運転が無い場合) 駐車場の水銀灯を夏場OFF アイドリング30秒以上はエンジン停止(冬場を除く) 自動車通勤⇒自転車、バイク、徒歩通勤へ(距離によるが原則) エコ運転の励行	推進担当者	○	kg-CO ₂ /百 万円(売上 高単単位)	926	639	2013年に 対し 31%減	・CO ₂ 第1四半期 841.09 第2四半期 191.843 第3四半期 313.147 第4四半期 341.412 ・売上げ 第1四半期 156.10 第2四半期 359.90 第3四半期 540.96 第4四半期 715.95 ・売上高単単位 第1四半期 538.81 第2四半期 531.66 第3四半期 578.87 第4四半期 476.87	第1 第2 第3 第4 四半期 四半期 四半期 四半期 115.7 116.8 109.4 125.4	2023.1 レザー複合機上位機種へ入れ替え 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK 総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK
2	廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量 【大久保課長】 過去3年間の平均に対して1%減	分別による再資源化		○	kg/百万円 (売上高原 単単位)	9.83	9.73	1%減	・廃棄物量 第1四半期 1438 第2四半期 2142 第3四半期 3765 第4四半期 5282 ・売上高原単位 第1四半期 9.21 第2四半期 5.95 第3四半期 6.86 第4四半期 7.39	第1 第2 第3 第4 四半期 四半期 四半期 四半期 105.4 138.8 128.5 124.0	総務 主管 技 工 八 六 八 六 組 品 OK
3	水使用量 【菊地課長】 節水徹底	節水徹底		○	生活用水のみで90L/人・日であり、節水管理徹底によりリテータ管理とする						
4	製品サービス 【斎藤課長】 不良率の低減 (ISO9001)	不良率の低減 (ISO9001)		○	ppm	市場 200 (出荷 990 (工程 4180)	-	品質維持	47ppm	品質維持良好 (参考値1765)	2022年 市場不良 47ppm (2021年 40ppm) 出荷不良 777ppm (2021年 980ppm) 工程不良 2356ppm (2021年 4130ppm)
5	資質教育 【菊地課長】 資質向上教育の実施	資質向上教育の実施		○	回	1	1	100%	1回 (10/21)	100	緊急事態の訓練実施 公害防止管理責任者育成中
6	有害規制物質の周知 【石川主任】 ポスターの掲示による従業員への周知	ポスターの掲示による従業員への周知		○					ポスター掲示済み		ポスターの掲示・周知実施
7	地域貢献 【菅原部長】 地域貢献	地域貢献		×	回	2	—	100%	0回		新型コロナウイルスの鎮静化までは、地域活動を自粛 するケースが多い為。

注1: 達成率の計算方法 【削減目標の場合】(目標値-実績値)/目標値 × 100+100(%) 【プラス目標の場合】(実績値/目標値)×100(%)
ただし、製品サービスは(1-目標値)/(1-実績値)とする(目標値が0%の為)

必須項目の推移



緊急事態の対応及び訓練状況

(訓練日2022/10/21)



写真-1 消火器訓練



写真-2 灯油配管破損対応訓練



写真-3 廃油蓋開閉訓練



写真-4 土嚢状態確認



写真-5 ドラム缶転倒・廃油漏洩訓練

環境関連法規などの順守状況

当社に適用となる主な環境関連法規制

適用される法規制	適用内容・概要	対象	遵守評価
廃棄物処理法	産業物廃棄管理表(マニフェスト)の交付と保管	産業廃棄物	○
公害防止組織法	公害防止管理者の届出	液圧プレス、機械プレス、せん断機、圧縮機	※1
騒音規制法	騒音発生特定施設の届出	液圧プレス、機械プレス、せん断機、圧縮機	○
	規制基準の遵守		
振動規制法	振動発生特定施設の届出	液圧プレス、機械プレス、圧縮機	○
	規制基準の遵守		
フロン排出抑制法	フロン漏洩防止・簡易点検の実施	空調室外機、加工機チラー、冷水器	○
下水道法	使用開始届出		○

関連機関より、法令違反の指摘はありません。

※1 公害防止統括者は登録変更済み・管理防止管理者は養成中(コロナ禍の為、試験見送り)

訴訟等の有無

関連機関及び住民からの苦情・訴訟はありませんでした

苦情受け付けと措置結果				工場長	課長	担当部門	作成
受付年月日		発生元区分	顧客 内部 地域 行政 その他				
発生元	氏名	住所					
	電話	FAX		メール			
受付者 役職氏名		転送期					
苦情内容							
一次解答内容							
環境管理責任者見解							
関連部門長見解							
処理・措置が必要な場合の処理・措置内容と結果							
処理・措置結果に対する環境管理者見解							
発生元へ対応							
代表者の評価							

2022年導入設備



ボトルネック工程のレーザー複合機をキャパアップの為、上位機種へ入替。

写真-6 レーザー複合機上位機種へ(2023年1月導入)

代表者の評価と見直し等の指示

見直し項目	評価	見直し指示
1環境方針	方針に沿った活動が行われています。	外部、内部環境の大きな変化はなく、方針の見直しは不要と考えています。
2環境目標	各目標とも順調に実行に移せており、良好と考えます。	市場不良率も目標値の一桁下に到達しており、今後のコスト影響を考え、来期は工程不良率を目標とします。
3環境活動計画及び環境経営システム	審査などのフィードバックを確実にこなせており、良好と考えます。	見直しの必要は無いと考えます。上記の目標変更の対応をお願いします。
4その他	特に無し	特に無し

5全体評価

環境関連法の対応は新型コロナの為に安全優先で見送りましたが、次年度はリモート講習などの利用も考えて、達成できるように考えてみましょう。

2023年環境目標

1.室効果ガス排出量削減(売上原単位)

スコープ1, 2(自社事業活動、購入エネルギー)において、

- ・ 2013年度実績に対して、2030年度50%削減。
- ・ 2013年度実績に対して、2023年度33%削減。
(電力CO²排出係数が2021年度と同等を前提)

2.廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量(排出量、処分量は売上原単位)

- ・ 過去3年間平均値に対して1%削減。
- ・ 工程不良率の低減;
0. 248%(2022年度、3月まで)→ 0. 223%。

3.環境及び労働安全上の緊急事態対応

- ・ 教育訓練の実施(年1回)

4.その他

- ・ 地域貢献;
新型コロナ状況の悪化が無い事を前提に、年1回の再開を目指す。
- ・ 水使用量の管理;節水励行とデータ監視(対象は生活用水のみ)。
- ・ 有害化学物質の周知。

2023年度取組計画内容

環境 エコアクション21

2023.5.31

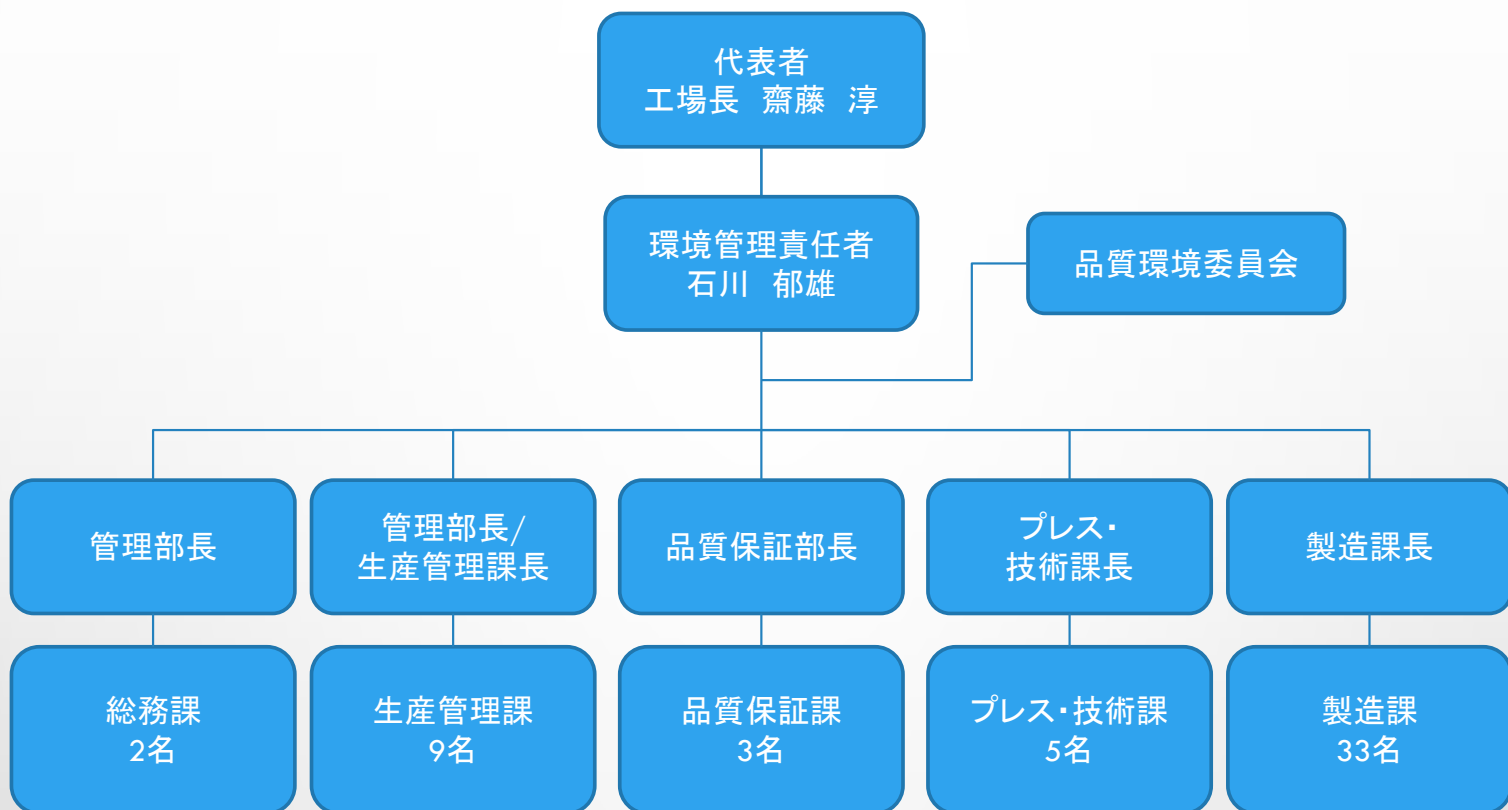
承認	評価・是正	作成	承認	作成

2023年度

No.	環境目標 (推進担当者) 【達成項目】	単位	基準値	2023 中期目標	削減率	活動計画	チェック 項目	チェック 結果	実績値	達成率 %増減	備考	
1	温室効果ガス排出量 【削減率】 0.329 kg-CO ₂ 排出係数 (令和5年度の排出係数は未定の為、 削減目標は前年度の削減値を使用 した場合) 中期計画 ・2013年度実績に対して、 2030年度50%削減。 (463kg-CO ₂ /百万円) ・2013年度実績に対して、 2023年度33%削減。 (630kg-CO ₂ /百万円)	kg-CO ₂ /百 万円(売上 高原単位)	926	620	2013年に 対し 33%減	設備更新時はエコ型新設備への入れ替え。 エアコン:適切な温度管理 夏場:25~28℃、冬場:18~22℃ 寒暖に応じた服装 冬:天井扇を回し室内上下温度の均一化をしているか 出荷荷物はまとめて出してシャッターは必ず閉めているか(倉庫管理課) 休み時間の消灯、不要な照明はコマめに消しているか 電力不要時の電源遮断(ブレーカOFF、コンセント抜く) 席の時に元ブレーカが切れているか(夜間運転が無い場合) 駐車場の水筒灯を点検OFF アイドリング30秒以上はエンジン停止(冬場を除く) 自動車通勤⇒自転車、バイク、徒歩通勤へ(距離によるが奨励) エコ運転の励行 分別による資源回収 裏紙使用の推進 紙・段ボールのリサイクルの推進						
2	廃棄物排出量及び 廃棄物量終処分量 【大久保部長】 過去3年間の平均に対して1%減	kg/百万円 (売上高原 単位)	9.83	9.63	1%減							
3	水使用量 【菊地課長】 生活用水のみで90L/人・日であり、 節水管理徹底によりデータ管理とする											
4	製品サービス 【青藤課長】	%	0.248	0.223	工程不良率 2022年に対し 10%減	不良率の低下(ISO9001)						
5	資源教育 【菊地課長】	回	1	1		資源向上教育の実施						
6	有害廃棄物量の削減 【石川主任】					ポスターの掲示による従業員への周知						
7	地域貢献 【大久保部長】	回	1	1		地域貢献						

注1:達成率の計算方法 【削減目標の場合】(目標値-実績値)/目標値 × 100+100(%) 【プラス目標の場合】(実績値/目標値) × 100(%)
ただし、製品サービスは(1-実績値)/(1-目標値)とする(目標値が0%の為)

エコアクション21環境活動実施体制



職務分掌

役割	担当者	職務(責任・権限)
代表者	工場長 齋藤 淳	①環境経営方針の制定。②環境管理責任者を任命する。③環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しをする。④取り組みに対する資源を用意する。
環境管理責任者	生産管理課 石川 郁雄	①代表者によってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
品質環境委員会	委員	環境活動計画における問題点の協議
部門責任者	各担当部課長	部門内において①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する②EA21の目標達成の取組を推進し、チェックをし、環境管理者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う③公害防止、緊急事態への予防措置を行う
コミュニケーション窓口	生産管理課 主任	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
社員	LD・係員	①部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。②EA21取組に関する教育訓練を受ける。③改善提案を行なう。